



Konan Institute of Human Sciences

甲南大学人間科学研究所（KIHS）は、平成14年11月1日に開設されました。文部省（当時）の学術フロンティア推進事業の助成を受けて行われた共同研究事業（平成10-14年度）の研究体制と成果を引き継ぎ、より恒常的に研究を進めるために設立された研究機関です。平成15年度からは、新たな共同研究事業を開始、文部科学省学術フロンティア推進事業に採択されました（平成15-19年度）。平成20年度からは共同研究事業「心の危機の見極めと実践的ネットワークの創造」として、これらの成果を引き継ぎ、さらに研究を進めています（平成20-24年度・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択）。臨床心理学や精神医学といった心の危機に実践的に取り組む臨床の学と、現代思想などの人文科学諸分野が連携して研究を深め、現代人が直面する困難な状況を理論的に把握し、かつ能動的に関わることをめざしています。

『心の危機と臨床の知』は、vol.1からvol.4までを上記研究事業の一環として甲南大学学術フロンティア研究室より刊行しました。vol.5からは甲南大学人間科学研究所紀要として継続刊行しています。

共同研究事業「心の危機の見極めと実践的ネットワークの創造」

—4つのプロジェクト—

1. 加害－被害関係の多角的研究（森茂起・北川恵・港道隆）
2. 育てる関係の危機と子育ての意識の多相性についての研究（高石恭子・穂苅千恵）
3. 芸術学と芸術療法の共有基盤確立に向けた学際的研究（川田都樹子・西欣也）
4. 心理療法の現在に関する検証—臨床と研究の即応的關係の構築—

（穂苅千恵・森茂起・高石恭子）

※（ ）内は企画者